



発行  
愛知県立春日台特別支援学校  
春日井市神屋町 713-8  
Tel (0568)41-8751

卒業おめでとう

校長 佐藤秀樹

木々が芽吹き始め、日差しに柔らかさを感じる季節となりました。今年度は、小学部十六名、中学部二十七名、高等部四十一名の計八十四名が卒業を迎えました。卒業生の皆さん御卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、お子様の御成長と御卒業を心からお喜び申し上げます。

今年度は新型コロナウイルス感染症への対応に迫られ、多くの制約の中での教育活動でした。その中で、小学部卒業生の皆さんは、少しずつ生活リズムが整い、落ち着いて学校生活に取り組めるようになりました。中学部卒業生の皆さんは、作業学習を通して、友だちと協力して働くことを学びました。そして、高等部卒業生の皆さんは、校内実習や産業現場等の実習に取り組み、自ら進んで



する力を身に付け、卒業後の生活に備えてきました。春日台特別支援学校の校訓の「元気な子」「仲良くする子」「がんばる子」を胸に刻み、それぞれの進む道で活躍されることを期待しています。

最後に、保護者、地域、関係機関の皆様方には、本校の教育の充実・発展のため、多方面にわたり多くの御理解・御協力いただきましたことに深く感謝申し上げます。

贈る言葉

「新たな道を進む卒業生へ」

小学部

小学部主事 柴山清隆

小学部六年生の皆さん、卒業おめでとうございます。今年の六年生は新型コロナウイルス感染症のために始業式からいつもとは違う学校生活

を余儀なくされました。運動会も修学旅行も中止となり、残念な思いをたくさんしてきたことと思います。それでも、皆さんはいつも笑顔で元気に学校生活を送っていました。とても素敵なことだと思います。できなかったことだけに目を向けるのではなく、これから先の希望に目を向け、頑張ってください。先生たちも応援しています。

小学部卒業制作

小学部六年生は、卒業制作としてメモ帳を作りました。用紙にスタンプを押したり、用紙の枚数を数えてまとめたり、シールを貼ったりするなど、それぞれの制作過程の作業をみんなで分担して自分のできることを頑張りました。子どもたちの気持ちのこもった、味のある作品となりました。にこにこ学級とも協力しながら作業を進めることができました。在校生やお世話になった先生方へ、お礼としてプレゼントします。



中学部

中学部主事 守矢茂樹

中学部三年生二十七名の皆さん、御卒業おめでとうございます。

とても個性豊かな二十七名。入学当初の写真を見ながら、心も体も大きく成長したなと実感しています。特に春陽まつりの発表では、三年生全員の「絆」が感じられる素晴らしい発表でした。

さあ、四月からは新たなスタートですね。みんなの周りには応援してくれる人がたくさんいます。いろいろなことにチャレンジしてください。皆さんの可能性は無限大です。

中学部の思い出川柳

中学部三年 国語一斑

友達が たくさんできた 学校で

前を向き 春陽まつり 旗演舞

ゆりのきで パスをわたした

サッカーで

体育で 記録更新 持久走

野外活動 やっぱノリノリ

キャンプファイヤー

ドキドキの 運動会が 成功だ

実習で 多く組み立て

ボルトねじ



高等部

高等部主事 相村明

サクラ咲ケ 僕の胸のなかに

芽生えた 名もなき 夢たち

振り向くな 後ろには

明日はないから 前へ 前へ

三年生の皆さん、御卒業おめでと

うございます。学校生活最後の一年は大変だったと思いますが、長い人生もまだまだこれからスタートです。明るく、楽しく、幸せな人生となるよう心より願っています。笑顔忘れずに、自分を信じて、堂々と胸を張って前へ前へと進んでください！いつまでも応援しています。

高等部生徒作文

『社会人に向けて』

高等部3年 木村優也



自分は一年生するとき、先生とコミュニケーションを取ることが苦手でした。二年生になると、少しずつ先生ともコミュニケーションが取れるようになり、苦手な先生はいましたが、徐々に自分から話ができるようになりました。

自分は、卒業したら就労移行支援に行きます。二年間で就労する力を身に付けられるように頑張ります。

二年後、社会人になったら、修学旅行で行けなかった伊勢に、家族や友達と旅行できればと思っています。

表彰者

特別支援教育推進連盟被表彰児童生徒

竹田真翔 (小六)  
港冬弥 (中三)  
奥村梨希 (高三)



---

---